

# CTR NEWSLETTER

No.7 | September 2021

## New Faces at CTR

2021年4月より足立基浩教授がCTRセンター長に就任され、9月にはHusna Zainal Abidin 特任講師がCTR専任研究員としてマレーシアから着任されました。フスナ特任講師は、新型コロナウイルスによるパンデミックのため、当初の予定より4か月遅れの着任となりました。共に英国留学が長く、英語でのインタビューでしたが、突然、中国語でのやり取りが始まるなど国際的なお二人にお話を聞きました。



### これまでの研究活動

本学経済学部の足立教授の専門は都市経済学で、まちづくりや中心市街地活性化をキーワードに研究に取り組まれています。「英国留学中はイギリス中を見て回った。イギリスではタウンセンターがよく利用されているが、郊外型大型店舗が多い日本との違いについて研究を続けている」と紹介いただきました。「足立先生が天候要因を指摘される通り、マレーシアは暑いので、タウンセンターよりショッピングモールが人気」と応えるフスナ特任講師は、英サリー大学で学部から大学院まで観光学の学位を修め、特に観光経営の領域でテクノロジーがどのようにステークホルダー間の協働に貢献できるかについて研究に取り組まれてきたそうです。「もともと文化や歴史に関心があって、ARやVRといったテクノロジーの力で特に高齢者や障がいを持つ方もより良い文化体験ができないか探っている」と生き生きと語って下さいました。



### 最近の研究テーマ

日本での行政手続きを体験したばかりのフスナ特任講師が「なぜ日本ではデジタル化が進まないのかに興味湧いている」と研究への意欲をにじませると、「ワーケーションや移住に関連してデジタル化が進む白浜や徳島を調査してはどうか」と足立教授から助言があり、フスナ特任講師がペンを走らせる場面もありました。一方で、足立教授が「現在は、データを活用してコロナによる人流への影響についても調査している。社会科学の見地からもコロナの影響と復興について社会に貢献すべき」と語ると、フスナ特任講師もコロナに関するトピックに強い関心を持っており、各国の状況についての情報や研究の切り口について議論が盛り上がりました。「渡航制限がある中でイギリス、マレーシア、日本という3カ国を直に目にしている貴重な存在だから、比較研究をしては」という足立教授の提案を受け、研究アイデアが次々にメモされていきました。

### これからの取り組みに向けて

幼少期と大学留学と合わせて12年もの間、イギリスで過ごしたフスナ特任講師は、「新しい章に進みたい」と和歌山大学に飛び込むことを決意されました。「アジアの価値観や視点、文化を尊重したい」という想いもその背景にあると言います。新天地での意気込みについて尋ねると、「観光業従事者や地域の人々とのつながりを大事にし、分かりやすい言葉で研究成果や学術的知見を伝え、観光産業や地域のコミュニティに貢献したい」と答えて下さいました。足立教授からは「CTRは世界とつながる大きな広がりをもつ場所。豊富なネットワークを活用して、特にコロナによる社会の影響に関する研究を進めてほしい」と、CTRセンター長としてのメッセージが述べられました。

(聞き手：村野美里CTRコーディネーター)

## Events reports - From April to September

6月10日（木）FD ウェビナー

### 'Navigating tourism education and research in the COVID-19 storm - Finding our 'new normal'?'

本学観光学部GP教育運営部会との共催で、学内のFD研修としてオンラインで開催しました。オーストラリア・サンシャインコースト大学からDr. Aaron Thamをお招きし、パンデミックによりオーストラリアやアジア各国の観光教育・研究の現場がどのように変化、対応しているのかを紹介いただきました。また、観光教育活動の成果を国際ジャーナルに投稿する意義や取り組み方についても、Dr. Thamの論文掲載の事例を交えながら議論しました。

#### Opportunities for research

- Staff and/or student COVID-19 teaching/learning experiences
- Development of authentic assessments and outcomes
- Industry projects (ゼミ) and e-internships
- Simulations/VR experiments
- Subject/Course/Unit based performance comparison (UG vs PG etc)



8月26日（木）

### 'CTR KAKENHI Workshop 2021'



科研費申請支援を目的に、主に若手研究者（特に英語で研究活動を行っている研究者）向けFDとしてオンラインで開催しました。科研費概要や仕組み、書類作成方法について、CTR研究員の永井隼人准教授（本学観光学部）から情報提供を行った他、科研費獲得実績のある研究員とも意見を交換し、将来の申請を目指す博士後期課程学生にとっても示唆に富むワークショップとなりました。

9月15日（水）CTR International Webinar

### 'Tourism geographies in the 'Asian Century''

CTR専任研究員のJoseph Cheer特任教授が共編者として参加した国際学術誌「Tourism Geography」の特集号（第23巻4号）「Recentring Tourism Geographies in the 'Asian Century」の出版を記念したウェビナーを開催しました。3名の基調講演の他、CTR専任研究員のRicardo Nicolas Prozano特任講師ら執筆に参加した研究者による発表も行われました。地政学的変化の中で存在感を増すアジアに焦点を当て、観光地理学の見地からポストコロナの観光を議論しました。録画動画はCTRウェブサイトから視聴可能です。 <http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/resource/video/index.html>



## Upcoming Events

- 11月19日（金） **2021年度CTRリサーチフォーラム**（Zoomオンライン開催）

CTR研究支援プログラム採択プロジェクト6件の中間報告とCTR専任研究員による研究活動報告、観光学研究科学生による研究発表を実施する予定です。どなたでも視聴可能です。

- 2月17（木）～18日（金） **CTR International Conference**（ハイブリッド開催）

“Tourism at the Periphery: Resilience, Revitalization and Regeneration” をテーマに、講演や研究発表、ラウンドテーブル等を実施する予定です。

※各詳細はCTRウェブサイトとLinkedInページでお知らせします。

# Publications

CTRスタッフによるイベント実施レポート「観光学分野の国際ウェビナーにおけるオンラインイベント運営について」がイベント学会の発刊する機関誌「イベント学研究」第4巻に掲載されました。これは、2020年度にCTRが主催した「Wakayama-CTR Webinar Series 2020 (<http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/research/webinar/index.html>)」の運営を踏まえ、広く知見を共有するため執筆したものです。

※CTR研究員の論文や著者等の業績は、CTRウェブサイトで紹介しています。ご覧ください。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/resource/publications/>



# CTR Research Activities

## 2021年度科研費採択課題

2021年度科学研究費助成事業に、CTR研究員が代表者となっている4件のプロジェクトが新規採択されました。

※ ( ) 内は代表者、【】内は研究種目

- ◆ ポスト・パンデミック時代における持続可能な山岳観光の分析 (Abhik Chakraborty 准教授) 【基盤研究(C)】
- ◆ 空間計量経済学を用いたコロナ期の観光需要に関する研究 (足立 基浩 教授) 【基盤研究(C)】
- ◆ 企業のCSR活動等を契機とした新たな地域観光の創出：「企業の森」事業に着目して (大浦 由美 教授) 【基盤研究(C)】
- ◆ 関係人口と地域住民との価値共創から検証するツーリズム・テロワール価値概念の有効性 (藤田 武弘 教授) 【基盤研究(C)】

その他の継続課題含め、詳細はCTRウェブサイトからご覧いただけます。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/research/projects/kaken/FY2021.html>



## 2021年度CTR研究支援プログラム採択プロジェクト

CTR内部の競争的資金の位置付けとして、5件の研究プロジェクトが2021年5月に採択されました。 ※ ( ) 内は代表者

- ◆ 世界自然遺産屋久島における自然保護と持続可能な観光の取り組みの分析 (Abhik Chakraborty 准教授)
- ◆ SDGs達成における観光の貢献～GSTCデスティネーション基準とSDGsとの関係性の検証による観光の貢献度計測手法の考察 (加藤 久美 教授)
- ◆ 持続可能なデスティネーション・マネジメントとエコシステムを構成する観光映像の研究 (木川 剛志 教授)
- ◆ 発展途上国の女性起業家をエンパワーメントするための観光ビジネスエコシステムの構築 (佐野 楓 准教授)
- ◆ 観光を含む広義の宇宙・天文教育についての基礎的研究 (富田 晃彦 教授)

各プロジェクト詳細はCTRウェブサイトにてご覧いただけます。

<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/research/projects/ctrsupport/2021/index.html>



# CTR with the World

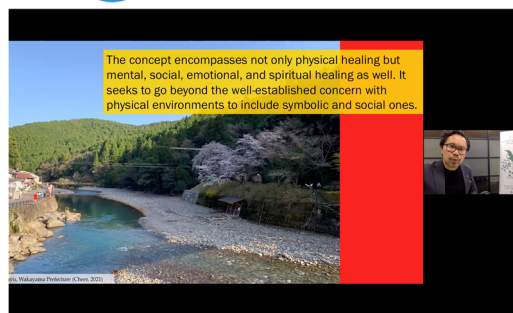
## ICRTH 2021

5月27～28日にマレーシアからオンラインで開催された「International Conference on Responsible Tourism and Hospitality」の後援を行い、CTR専任研究員のJoseph Cheer特任教授がアドバイザーメンバーを務めた他、コミュニティベースツーリズムのワークショップに登壇しました。また、Rebuilding Tourism for the Future through Sustainable Developmentをテーマに、28か国からの80名に及ぶスピーカーが知見を共有しました。 <https://sarawakresearchsociety.org/icrth2021/#n-2>



## EATSA 2021

6月28日～7月1日に琉球大学を会場にハイブリッド形式で開催された国際学会「7th Annual Conference of EATSA (Euro-Asia Tourism Studies Association)」の後援を行いました。Joseph Cheer特任教授が基調講演を行った他、木川剛志教授、佐野楓准教授、Ricardo Nicolas Prozano特任講師や各共同研究者も含め、多くのCTR研究員が研究発表を行いました。 <https://www.eatsa-researches.org/2021/>



## Research Support

### SPSS貸し出し

分析ソフトウェア（IBM SPSS、SPSS Amos）を整備しています。CTR研究員とその指導学生であれば学内での利用が可能です。

### インセンティブ制度

学内のCTR研究員を対象に、観光分野に関連した競争的資金の申請および論文掲載に対し、インセンティブ経費を配分しています。ぜひご利用ください。

### CTR配架資料

CTR事務所にジャーナルやレポート等各种配架しており、閲覧可能です。ご自由にお持ち帰りいただけるものもあります。

主な資料：CTR研究員の書籍、UNWTO発行レポート、Journal of Service Management、Tourism Economics、公益財団法人日本交通公社発行「旅行年報2020」

<編集・発行>

和歌山大学 国際観光学研究中心 Center for Tourism Research

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 西1号館1階

TEL: 073-457-7025

E-mail: info-ctr@ml.wakayama-u.ac.jp

Web: <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>